

春が来た

年中

2026年3月



まだ少し肌寒い日でしたが、太陽の使いが現れました。テントウムシです。



図鑑で調べると、“アブラムシを食べる、高い所を好んで上へ登る”などの習性があることを知りました。戸外に出ると、早速テントウムシのために、土や石、蜜柑の葉などを入れて家を作り、アブラムシ探しが始まりました。



また、春一番が吹いた翌日には、桃組のテラスに見慣れないバッタがいたので、虫かごに入れました。

図鑑で調べて「ツチイナゴ」ということが分かったと、他学年の保育室まで赴き、

「ツチイナゴいたんだよ！」と得意気に見せていました。

春一番の話をする、

「じゃあアブラムシいるかな!？」

「チューリップも大きくなってるかも！」

と期待を膨らみ、早速戸外へ出かけました。

「先生～！チューリップがたくさんになってる！」と

チューリップの芽が、以前よりも顔を出している様子に大興奮！

園庭を散策すると、皆の大好きなダンゴムシもいました。手の平に乗せてコロコロと転がしたり、

手の甲を這う様子を「ダンゴムシがマッサージしてるー！くすぐったい♪」と嬉しそうにしていました。

園庭の自然に触れ、春の訪れを感じています♪

